



大阪科学・大学記者クラブ 御中

2015年1月30日

公立大学法人大阪市立大学 広報室

Email : t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp

大阪市立大学COCフォーラム 「地域に学び、地域に還す。」を開催します

大阪市立大学は、平成27年2月19日(木)に、杉本キャンパス基礎教育実験棟1階の階段教室にて、COCフォーラム「地域に学び、地域に還す。」を開催します。

現在、大学の教育改革の方向として、学生が能動的に学ぶ「アクティブラーニング」が注目されており、本学においても新しい試みとして今年度に「地域実践演習(GATSUN)」を開講しました。これは、“大学COC事業”の一環として開講されたもので、学生が地域に入り込み、地域をフィールドとして地域の課題解決を主体的に考えるというアクティブラーニングを実践する授業です。

本フォーラムの第1部では、地域実践演習の成果発表を学生が務め、この授業によって「学生は何を学び、何を地域に還すことができたのか」、また「地域の人たちはそれをどのように評価しているのか」などの成果について、パネリストを交えて、地域・学生・教育などのさまざまな観点から検証します。第2部では、関西にある大学で地域課題解決への取り組みを行っている学生(ゼミ)が事例を発表し、第1部のパネリストによる講評を行います。地域・学生・教員・企業の相互交流の場を設けるとともに、**地域と大学のこれまでの取り組みを振り返り、「未来」へ向けて持続可能な協働関係を考察します。**

※COCフォーラムは、平成25年度から大阪市立大学と大阪府立大学が共同事業として取り組んでいる

【地(知)の拠点整備事業】の一環で開催している企画です。(参考URL : <https://www.connect.osaka-cu.ac.jp/coc/>)

記

- 1 日 時 平成27年2月19日(木) 13:00~17:00 (開場 12:30)
- 2 会 場 大阪市立大学 杉本キャンパス 基礎教育実験棟1階 階段教室
(JR 阪和線「杉本町(大阪市立大学前)」駅下車、東口より徒歩8分/地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、4号出口より南西へ徒歩約15分)

3 プログラム

第1部 地域実践演習の成果の検証

【成果発表】(13:05-13:35)

- ・地域実践演習Ⅰ ~我孫子町商店会の活性化を通じたまちづくり~
 - ・地域実践演習Ⅱ ~住吉・住之江・西成におけるいのちを守る都市づくり実践~
 - ・地域実践演習Ⅲ ~紀伊半島新宮市における地域再興、ニューツーリズムの学修~
- ※受講した学生が各演習での取り組みや学んだ内容などについて発表を行います。

【パネルディスカッション】(13:35-14:45)

「地域をフィールドとしたアクティブラーニングの教育効果を問う。」

ファシリテーター：加藤 司 (大阪市立大学大学院経営学研究科 教授)

パネリスト：上田 洋平 (滋賀県立大学全学共通教育推進機構 助教)

本田 俊 (依羅地区社会福祉協議会 会長、NPO 法人ハートアイくらぶ 副理事長)

中邨 正人 (株式会社電通関西支社 統合ソリューション局 ビジネスプロデュース部長)

難波 美都里 (南大阪地域大学コンソーシアム 統括コーディネーター、
有限会社ダブル・ワークス 代表取締役)

石原 凌河 (大阪府立大学地域連携研究機構 特認助教)

第2部 学生による地域での取り組み事例の発表 (15:00-16:30)

発表大学：大阪市立大学、大阪府立大学、滋賀県立大学、

大阪商業大学、同志社大学、龍谷大学、立命館大学

※各大学の発表の後に、それぞれ講評を行います。

●フォーラム終了後、地域・大学・企業による交流会を実施します。

- | | | |
|---|--------|---|
| 4 | 対 象 | どなたでも |
| 5 | 定 員 | 200名 (※事前申し込み不要、当日直接会場へお越しください。) |
| 6 | 費 用 | 無 料 |
| 7 | 主 催 | 大阪市立大学 |
| 8 | 共 催 | 大阪府立大学 |
| 9 | 問い合わせ先 | 大阪市立大学 プロジェクトマネジメントオフィス
担当：澤田・永原
TEL：06-6605-2068 FAX：06-6605-3505
E-mail：pmo-coc@ado.osaka-cu.ac.jp |

【本件に関する問合せ先】

大阪市立大学 プロジェクトマネジメントオフィス

担当：澤田・永原

TEL：06-6605-2068

地域に学び、 地域に還す。

第4回 COCフォーラム

日時 2015年2月19日(木) 13:00~17:00(開場12:30)

会場 大阪市立大学 杉本キャンパス 基礎教育実験棟 1階・階段教室

参加
無料

定員：200名(当日受付/先着順)

主催：大阪市立大学

共催：大阪府立大学

プログラム

●開会挨拶 宮野 道雄 (大阪市立大学 副学長)

第1部 地域実践演習の成果の検証

【成果発表】

地域実践演習(GATSUN)Ⅰ ～我孫子町商店会の活性化を通じたまちづくり～

地域実践演習(GATSUN)Ⅱ ～住吉・住之江・西成におけるいのちを守る都市づくり実践～

地域実践演習(GATSUN)Ⅲ ～紀伊半島新宮市における地域再興、ニューツーリズムの学修～

【パネルディスカッション】

「地域をフィールドとしたアクティブラーニングの教育効果を問う。」

パネリスト

上田 洋平 (滋賀県立大学全学共通教育推進機構 助教)

本田 俊 (依羅地区社会福祉協議会 会長、NPO法人ハートアイくらぶ 副理事長)

中邨 正人 (株式会社電通関西支社 統合ソリューション局 ビジネスプロデュース部長)

難波 美都里 (南大阪地域大学コンソーシアム 統括コーディネーター、有限会社ダブル・ワークス 代表取締役)

石原 凌河 (大阪府立大学地域連携研究機構 特認助教)

ファシリテーター

加藤 司 (大阪市立大学大学院経営学研究科 教授)

第2部 学生による地域での取り組み事例の発表

発表大学

滋賀県立大学・同志社大学・立命館大学・龍谷大学
大阪商業大学・大阪府立大学・大阪市立大学

●開会挨拶 加藤 司 (大阪市立大学大学院経営学研究科 教授)

地域・大学・企業による交流会

パネル展示(COC事業紹介)



地域に学び、地域に還す。

現在、大学の教育改革の方向として、学生が能動的に学ぶ「アクティブラーニング」が注目されており、大阪市立大学においても新しい試みとして今年度に「地域実践演習(GATSUN)」を開講しました。これは、「大学COC事業」の一環として開講されたもので、学生が地域に入り込み、地域をフィールドとして地域の課題解決を主体的に考えるというアクティブラーニングを実践する授業です。

本フォーラムの第1部では、地域実践演習の成果発表を学生が務め、この授業によって「学生は何を学び、何を地域に還すことができたのか」、また「地域の人たちはそれをどのように評価しているのか」などの成果について、パネリストを交えて、地域・学生・教育などのさまざまな観点から検証します。第2部では、関西にある大学で地域課題解決への取り組みを行っている学生(ゼミ)が事例を発表し、第1部のパネリストによる講評を行います。地域・学生・教員・企業の相互交流の場を設けるとともに、地域と大学のこれまでの取り組みを振り返り、「未来」へ向けて持続可能な協働関係を考察します。

なお当日は、フォーラム会場付近に、COC事業での教育・研究・社会貢献の取り組みをパネル展示いたします【パネル展示(COC事業紹介)】。

第1部 地域実践演習の成果の検証

第2部 学生による地域での取り組み事例の発表

- 滋賀県立大学環境科学部 「とよさと快蔵プロジェクトー空家を改修・活用した学生シェアハウスの10年」
- 同志社大学商学部 「オモシロイからはじまる」
- 立命館大学文学部 「地域コミュニティ誌づくりの現場を体験して」
- 龍谷大学政策学部 「京都市伏見区深草地域における地域コミュニティ活性化に関する取り組み」
- 大阪商業大学経済学部 「河川環境の保全から考えるまちづくり」
- 大阪府立大学現代システム科学域 「地域実践演習～防災コミュニケーション～での取り組みを通して」
- 大阪市立大学商学部 「若者の感性を活かした駒川商店街の活性化」

■パネリスト・ファシリテーター プロフィール



上田 洋平 滋賀県立大学全学共通教育推進機構 助教

専門は地域文化学。「近江楽座」、「近江楽士(地域学)副専攻」、「大学院副専攻近江環人地域再生学座」、COC事業「びわ湖ナレッジ・commons」等大学が推進する地域教育プログラム全般の企画運営に携わり、大学の理念である「人が育つ」が育つ場と仕組み作りを目指す。磨茶園を活用した学生による地域活性化プロジェクト「政所茶レン茶」等を、「葛藤するチャンス」を損なわない範囲で指導しつつ、里山→里一里湖→里鳥のつながりを活かした近江地域の総合的な活性化に取り組む。



本田 俊 依羅地区社会福祉協議会 会長、NPO法人ハートアイくらぶ 副理事長

地域団体内の大半は高齢者です。地域全体となるとマンションという空間に単身世帯があまりにも多く、接触すらい有様です。地域の中心となる商店街も、周辺にスーパーが8店も有り、寂れる一方です。町おこし事業をするにもマンパワーが不足していますし、日々の業務に追われる状況です。学生たちの自由な発想、行動力に期待しますが、継続性が求められます。



中野 正人 株式会社電通関西支社 統合ソリューション局 ビジネスプロデュース部長

これからの街づくりのあり方に関して、コミュニケーション領域を武器として、企画設計/施設設営、中長期に渡る実施運用までの統合的ソリューションデザインに携わる。キーワードは様々な人の手やアイデアによる改革。学生さん達が参加し、気持ちがあるに宿り、その街がどんな風になるかとしているのか。一緒にディスカッションできることを、非常に楽しみにしています。

■連絡先

大阪市立大学 プロジェクト・マネジメント・オフィス(略称PMO)
 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
 TEL 06-6605-2068 FAX 06-6605-3505
 E-mail pmo-coc@ado.osaka-cu.ac.jp

大阪府立大学 地域連携研究機構 地域連携室 COC事務局
 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号
 TEL & FAX 072-254-8309
 E-mail cocinfo@ml.osakafu-u.ac.jp

COC事業について



大阪市立大学・大阪府立大学が共同で採択された文部科学省の地(知)の拠点整備事業「大阪の再生・賦活と安全・安心の創生をめざす地域志向教育の実践」では、大阪府・市域の課題解決やコミュニティの再生を担う実践的な人材の養成を目指して、大学と自治体が連携して、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献の取り組みを進めています。



難波 美都里 南大阪地域大学コンソーシアム 統括コーディネーター、有限会社ダブルワークス 代表取締役

地域の発展に貢献することを目指す南大阪地域大学コンソーシアムでは、多種多様な産学官地域連携事業を、社会との接点を演出する効果的な人材育成プログラムとしても機能させている。地域では活性化を望み、企業では新商品の開発やサービスの工夫など新しいアイデアを求めている。こうした地域や企業にとって、学生の若い視点や新鮮なアイデアや行動力への期待は大きい。



石原 凌河 大阪府立大学地域連携研究機構 特認助教

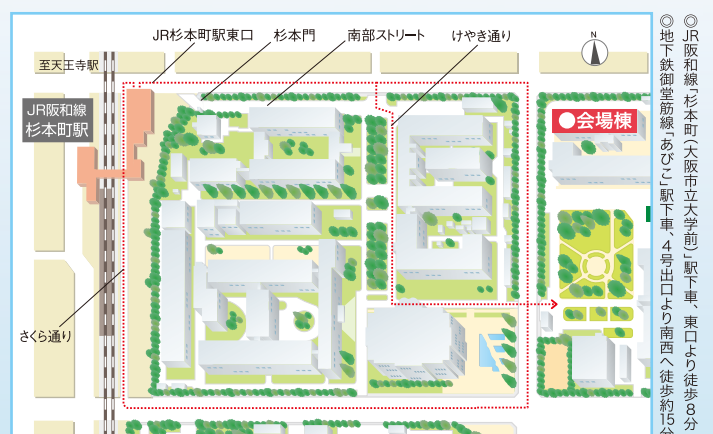
地域をフィールドとした大学教育に携わっています。大学時代には「都市研究会」を設立し、学生が主体となって兵庫県宝塚市や福井県敦賀市における中心市街地活性化の取り組みなどを行ってきました。いろいろ失敗も多かったのですが、学生時代に地域に関わってきた経験が今の人生につながっています。大学時代に地域活動に携わってきた先輩として、大学生の皆さんの取り組みについてアドバイスできたらと思います。



加藤 司 大阪市立大学大学院経営学研究所 教授

COCでは地域活性分野を担当。商学部が採択された現代GP「インタラクティブ型キャリア教育方法の確立」(平成19～21年度)の実施担当者。学生をビジネスの現場に連れて行き、そこで自ら課題を発見・解決するアクティブラーニングによって学生が大きく成長することを実感。今年度はこの方法を学部横断的に実践した「地域実践演習GATSUN」を担当している。学生が若い感性で作成したあびこタウン情報誌には、脱帽。

■会場アクセス



◎JR阪和線「杉本町(大阪府立大学前)」駅下車、東口より徒歩8分
 ◎地下鉄御堂筋線あびこ駅下車、4号出口より南西へ徒歩約15分